

教員養成の目標及び計画

学校教師学部は、社会が求める「優れた学習指導能力及び生活指導能力と対人関係能力を兼ね備え、生徒・父母そして社会から真に教師として信頼される人材を養成する」ことを目的とし、その実現のために、これまで他の大学において行われていない特色ある教育システムを導入している。

1. 全寮制の生活による確かな人間形成

秀明教育の母体であり、全寮制・中高一貫を特色とする秀明学園（昭和 53（1978）年 4 月開校）の教育実績をもとに、全ての学生が学生寮で生活する。月曜日から木曜日まで寮に宿泊し、毎朝 7 時からの朝体操、朝食で始まる規律正しい生活を送っている。寮室は、1, 2 年次は 2 人 1 部屋で、定期的に、また申し出によりペアを代えてさまざまな友人との共同生活を体験する。この寝食を共にする共同生活を通して、「対人関係能力」「正義・寛容・理解と共感・思いやり・役割と責任」、「より良き生活習慣」を身につけ、教師としての資質能力を伸ばす。

2. 夜間学修

毎週月曜日から木曜日まで、午後 7 時より 10 時まで夜間学修を実施する。夜間学修には、必ず本学部の教員が、学年・専修別に指導に当たる。夜間学修の内容は次のとおりである。

- (1) 専修教科（主に 1 年次）や一般教養・教職教養（2 年次以降）の学力を伸ばす
問題演習や特訓講座と実力テスト
- (2) 教育時事問題についての討論会
資料を読み、自分も意見をまとめた上でグループ討論によって理解を深める
- (3) 教育実践演習報告検討会
学校教育現場での経験を共有し、自らの活動に役立てる
- (4) 教育講話
秀明大学教育研究所教授等による特別講座
- (5) 昼間の大学の講義を深めるための自学自修
- (6) 専修コースの担任、副担任との面接・相談

3. 1 年次からの「学校現場研修」の実施

秀明学園系列の中学、高等学校（中学校 2 校・高等学校 3 校）や「教育活動の相互協力に関する協定」を結んでいる近隣自治体 6 市の小・中・高等学校を利用して、「学校現場の見学」「学習指導支援」「特別活動の実習」「授業実習」などを実施する。これにより、学生は学習者対応能力、実践的指導能力を身につける。学校現場での研修・実習目標および内容は以下の通りである。

1 年次：「生徒の現状を知り、生徒への対応の仕方を学ぶ」

授業見学とティーチングアシスト、個別補習指導、学習指導支援 など

2年次：「授業における教師の役割や指導方法、授業技術を学ぶ」

授業見学および実習、ホームルーム補助、学校行事見学・補助 など

3年次：「教材研究、指導案の作成など実践的授業能力を高める」

プレ教育実習、介護体験実習、教育実習事前事後指導 など

4年次：「3年次までの講義・実習で得た知識と技術を総合する」

教育実習、公開授業と研究会

4. 「生きた英語力の育成」と「教育視察研修」

英語専修コースの学生は5か月、他の専修コースの学生は4週間、イギリスのCCC（チヨースー・カレッジ・カンタベリー）での生活と授業を通して生きた英語を学ぶと共に、イギリスの学校を訪問して学校制度や教育指導のあり方について学ぶ「教育視察研修」を実施している。